

各関係機関の長 殿

山形大学大学院医学系研究科長

永 瀬 智
(公 印 省 略)

山形大学大学院医学系研究科寄附講座担当講師候補者の推薦について (依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、総合診療医への期待は全国的に高まっており、特に大都市を持たない都道府県では、需要が大きくなっています。これまで本学は総合診療部門を持たず、山形県内でもいくつかの病院で活動が始まったばかりですが、このたび、山形県全体の総合診療の活動を活発にしたいと考え、本研究科寄附講座（地域医療を担う医師等のキャリア形成推進講座）において新たに講師を採用することとなりました。

つきましては、貴職関係者にご周知いただくとともに、適任者がおられましたらご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹言

記

- 1 所 属 地域医療を担う医師等のキャリア形成推進講座
- 2 職種及び人員 講師 1人
- 3 採用予定年月日 令和6年7月1日以降
- 4 職務内容
当該寄附講座における教育・研究、附属病院における診療
※実際の活動にあたっては、本研究科内科学第一講座と共同して行っていただきます。本研究科内科学第一講座は、循環器・呼吸器・腎臓・膠原病領域を担当しており、OBには地域医療で総合診療的な役割を果たしている医師も数多くおります。
- 5 応募資格
(1) 総合診療を専門として、診療・教育・研究を担当可能な方
(2) 総合診療専門医の資格を有する方
(3) 総合診療医としての実績が5年以上ある方

6 待遇等

- (1) 身分 常勤職員（個別契約任期付き教員）※国立大学法人職員（非公務員）
- (2) 任期 1年（年度ごとの雇用更新。勤務成績により令和9年度まで更新可）
- (3) 試用期間 採用の日から6か月
- (4) 勤務時間 8時30分から17時（休憩45分）
- (5) 休日 週休2日（原則、土曜日及び日曜日）、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

※ただし、大学行事、入試等により勤務を命ずる場合があります。

- (6) 休暇 年次有給休暇20日、病気休暇（有給）、特別休暇（有給）
- (7) 給与 本学給与規程等に基づき支給
- (8) 諸手当 期末・勤勉手当（6月、12月）、通勤手当、住居手当、扶養手当、寒冷地手当 等

※上記の諸手当は、支給要件を満たす場合に規定額を支給します。

- (9) 退職手当 本学給与規定に基づき支給
- (10) 社会保険 文部科学省共済組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険

7 提出書類

- (1) 履歴書（別紙様式1）
- (2) 業績目録（別紙様式2）
- (3) 研究費受領状況（別紙様式3）

8 公募締切日 令和6年5月31日（金）必着

9 選考方法

書類選考及び面接等（ヒアリングやプレゼンテーションを実施する場合あり）。書類選考の結果、面接等を実施する方に対しては後日日時等の連絡をします。※面接等のために要する経費は応募者の負担となります。

10 書類提出先

下記まで郵送もしくはPDFファイルをメール添付にてお送り下さい。

〒990-9585

山形市飯田西二丁目2-2

山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当（人事）

E-mail: yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

電話 023-628-5005

1.1 問い合わせ先 書類提出先に同じ。

1.2 その他

- (1) 山形大学では、男女共同参画の推進とワークライフバランスの実現に取り組んでいます。保育支援制度が整っており、医学部には、保育所・病児保育室が設けられ、子育て支援が充実しています。また、ダイバーシティ研究環境実現のために、女性研究者の活躍を支援する制度（研究継続支援員制度や学会参加時の保育支援制度など）も整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室：

<https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

- (2) 山形大学医学部では、学生の教育環境の整備を進めています。現在図書館の改修及び新たな教育施設としてYU-MAIセンター（Yamagata University faculty of Medicine Advanced Innovation Center）を建設中です。同センターを中心に、学生の臨床能力・技能等の向上を図り、県内の総合診療医育成のための施設としても機能させる取組を進めます。
- (3) 懲戒処分歴がある場合は、その具体的な事由を応募の際に必ず申告してください。なお、当該事実が後日判明した場合は、経歴詐称による採用取消、懲戒解雇等の対象となる場合があります。
- (4) 採用後は、本学就業規則その他諸規則に従い、勤務いただきます。

履 歴 書

記載例

(令和〇〇年〇〇月〇〇日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
氏名: 〇 〇 〇 〇 昭和42年(1967) 〇月〇〇日生(〇〇歳) 性別
(旧姓名: 〇 〇 〇 〇)

所属・職種: 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇
電話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
メール: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.〇〇.jp

現住所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: 〇〇〇県
電話: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学歴: 昭和61年(1986) 3月 〇〇高等学校卒業
平成4年(1992) 3月 〇〇大学医学部医学科卒業
平成〇〇年(〇〇〇〇) 4月 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学
平成〇〇年(〇〇〇〇) 3月 同上 修了

免許等: 平成4年(1992) 4月16日 歯科医師免許(第〇〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 厚生省〇〇〇〇〇〇資格認定医(第〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 日本〇〇学会認定〇〇医(第〇〇〇〇〇号)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 日本〇〇〇〇学会認定指導医(第〇〇〇〇〇号)
学位: 平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 医学博士(〇〇大学), または博士(医学)(〇〇大学)

職歴: 平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 国立〇〇病院医員(研修医)(外科)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部助手(〇〇学第二講座)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇県立〇〇病院(〇〇部)
平成〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 同上 辞職
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇〇月 〇日 米国〇〇〇〇〇〇〇〇大学研究員(〇〇学)
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月〇〇日 帰国
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部附属病院助教(〇〇部)
平成〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部講師(〇〇学第二講座)
令和〇〇年(〇〇〇〇) 〇月 〇日 〇〇大学医学部准教授(〇〇学第二講座)
現在に至る

所属学会等: 日本〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)
日本〇〇〇学会
日本〇〇〇〇学会(評議員:平成〇年~現在)

社会貢献: 〇〇病院への応援診療(平成〇年~現在)
〇〇県〇〇〇審議会委員(平成〇年~令和元年)
〇〇〇〇高校における講演「〇〇〇〇〇(演題)」(令和〇年〇月〇日)
※特筆すべき活動のみを記載してください。

賞罰: なし
※ハラスメント、研究不正等により処分を受けたことがある場合は必ず申告してください。

氏名:

[原著]

著者名	論文タイトル	ジャーナル名 (巻・頁・年)	著者区分	責任著者の有無	インパクトファクター	ランク
1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M	Malignant Clinical features of anaplastic gliomas without IDH mutation	Neuro Oncol 17 136-144 2019	◎	●	9.0000	Q1
(oooooooooooooooooooooooooooo, ooooooooooooooooooooooooooooo, ooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooooo.)						
2 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S	Angiographic circulation time and cerebral blood flow during balloon test occlusion of the internal carotid artery	J Cereb Blood Flow Metab 34 136-43 2018	◎		5.4900	Q1
3 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M	Risk assessment for venous thromboembolism in patients with neuroepithelial tumors : pretreatment score to identify high risk patients	Neurol Med Chir(Tokyo) 53 455-466 2017	◎			

[症例報告]

著者名	論文タイトル	ジャーナル名 (巻・頁・年)	著者区分	責任著者の有無	インパクトファクター	ランク
1 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M	A case of coil embolization with crossing Y-configuration stenting for a recurrent IC-PC aneurysm after clipping	JNET 16 250-256 2022				

[総説]

著者名	論文タイトル	ジャーナル名 (巻・頁・年)	著者区分	責任著者の有無	インパクトファクター	ランク
1 Yamagata T, Beniya H, Yonezawa E, Sagae M	Latest treatment for brain tumors	Convection-enhanced delivery Clinical Neuroscience 31 1186-1187 2017				

[国際学会のProceeding]

著者名	論文タイトル	ジャーナル名 (巻・頁・年)
1 Beniya H, Yonezawa E, Sagae M, Yamagata T	The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH mutation	Neuro Oncol 15 iii223 2017

[著書]

執筆著者名	執筆タイトル	著書名 (頁・年)	編者名	出版社
1 Yamagata T, Beniya H, Sagae M, Turuoka S	The role of IDH1 and IDH2 mutations in malignant gliomas. In: Hayat MA, editor	Tumors of the central nervous system, vol.2 2017		Springer
2 山形太郎	緊急対応を要する脳腫瘍 神経救急診療の進め方	脳神経外科 診療プラ pp167 2014 クティス4		文光堂

[学会発表]

発表者名	発表タイトル	発表学会名 (開催地・年)
1 Yamagata T, Higashine O, Sagae M	The role of surgery for anaplastic gliomas with IDH gene mutation. (Poster)	The 4th Quadrennial Meeting of the World Federation of Neuro-Oncology San Francisco USA, 2017
2 山形太郎, 寒河江光政	神経膠腫発生に關与する遺伝子異常 (プレナリーセッション)	第32回脳神経外科コンgres 横浜 2016

記入要領 (様式2)

- 原著, 症例報告, 総説, 国際学会のProceeding, 著書及び学会発表の順に, 各項目に分けて記載してください。

なお, 印刷中 (In Press) の論文については受理証明書若しくはDOIを添付・併記してください。
- 項目ごと英文を先, 和文を後とし, 年代の新しいものから順に記載してください。
- 具体的記載について
 - 原著, 症例報告, 総説, 著書及び国際学会のProceedingについては, 原則として記載例にならってください。

なお, 次の点にも御注意ください。

 - 雑誌の略誌名は, Index Medicus 及び医学中央雑誌に掲載されているものに準じる。
 - 全著者名を記入し, 本人名には下線を付する。
 - 主要論文 (20編以内) に○印を付け, 日本語で数行以内の概要を記入してください。更に, 20編の中で特に重要と思われる論文5編に◎印を付けてください。
 - 原著 (英文), 症例報告 (英文), 総説 (英文) のうち, 筆頭著者の論文には◎印を, 第2著者の論文には△を, 責任著者の論文には●印を付けてください。(筆頭著者かつ責任著者の場合は◎●, 第2著者かつ責任著者の場合は△●) また, 著者名が2番目でも, 共同の筆頭著者である場合も◎を付けてください。
 - Journal Citation Reportsにおける2023年のジャーナルのランクがQ1, Q2である場合は, Q1又はQ2を併せて付してください。
 - 学会発表については, 全国規模の国内学会 (地方会・支部会除く) での特別講演, 教育講演, シンポジウム等, 及び国際学会で筆頭者として発表したものに限ります。

記載例

研究費受領状況

(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名	金 額 (円)
2020	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (2020年度~2022年度) (代)	△△△△に関する研究	
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究	
	AMED 助成 (代)	〇〇の臨床応用研究	
2017	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分)	□□□□に関する研究	
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究	
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究	

※「研究費」には、企業等からの研究費提供等も含む。この場合は、企業名を明記すること。